

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和 2年 2月 20日 更新

事務事業名		結核・精神病類抽出事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2	福祉の健康			所属部	健康福祉部	課長名	野口 政浩
	施策	5	健康づくりの推進			所属課	保険年金課	担当者名	吉田 夕佳
	施策の柱	22	保険医療制度の健全な運営			所属班	保険年金班	(内線)	1174
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	根拠法令	国民健康保険法		
	国保	6	1	1	10384				
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 30年度で終了 <input type="checkbox"/> 30年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)					

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・疾病を分類(国保連合会委託)し市民の疾病傾向を把握し、長期的な医療費削減対策や補助金申請に使用する。 ・昭和33年に調整交付金制度が発足し国民健康保険法に設けられた制度。 ・平成20年度より後期高齢者医療制度が発足したため、75歳以上が対象から外れた。
【業務の流れ】	①診療月ごとの疾病分類、②結核・精神の病類を抽出し診療月ごとのリストを作成、③リスト1件ごとに対象レセプトを確認、④対象となるものだけを特別調整交付金として申請
【主な予算費目】	08保健事業費 01保健衛生普及費 13業務委託
【意見や要望】	結果として交付金として市に国、県から交付があるので当然これからも必要である。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動) (DO)	国保連合会にデータ作成委託。	31年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 平成30年度と同じ
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 枚 ア:診療報酬明細書数 イ:	予算の主な増減の理由 被保険者の診療件数増加が見込まれるため。
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	国民健康保険特別会計	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) ア:疾病分類業務等委託料 千円 イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	特別調整交付金の額を適正に算定する。	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) ア:結核・精神病にかかる特別調整交付金の金額 千円 イ:
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
国の特別調整交付金の額が成果となるため。		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	28年度 実績(決算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	2年度 予定	3年度 見込	4年度 見込
① 活動指標	ア	枚	214,260	214,992	222,000	208,995	222,000	222,000	222,000	222,000
	イ									
② 対象指標	ア	千円	2,367	2,374	2,400	2,310	2,400	2,400	24,000	24,000
	イ									
③ 成果指標	ア	千円	75,280	70,160	70,000	82,184	70,000	70,000	70,000	70,000
	イ									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円	2,367	2,375	2,340	2,310	2,414	2,400	2,400
	一般財源	千円								
	(A) 事業費計	千円	2,367	2,375	2,340	2,310	2,414	2,400	2,400	0
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	3	3	2	3	2	2	2	0
	延べ業務時間	時間	300	340	200	320	200	200	200	0
	(B) 人件費計	千円	0	1,345	796	1,261	796	796	796	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,367	3,720	3,136	3,571	3,210	3,196	3,196	0

事務事業名	結核・精神病類抽出事業	所属部	健康福祉部	所属課	保険年金課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は30年度の事後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②31年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 前年度並みのため。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 現状維持が大事。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 必要最低限の事業費のため削減の余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 嘱託職員をフルに活用している。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 公平である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 行政が行う範囲であるため、移行できない。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (CHECK)

この事業の実施により適正な特別調整交付金の算定ができた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						